

ぶらっと街歩き 2025「山崎界限」開催報告

令和7年5月24日（土）、IOC（岩切おもしろ倶楽部）主催のぶらっと街歩き「山崎界限」を開催しました。当日は耕田寺駐車場に午前10時に集合し、25名の参加者が集いました。天候は曇りながらも歩くにはちょうど良い気温で、終始和やかな雰囲気の中での開催となりました。

司会は鈴木健治氏が務め、冒頭にはIOC会長・渡邊敏之氏より挨拶がありました。「山崎」という地名には、京都の「山崎」に由来するという説があるとのお話に、参加者一同興味深く耳を傾けました。

今回の街歩きでは、案内役の三浦雄司氏の丁寧な解説のもと、地域に残る歴史の跡を巡りました。最初に訪れたのは耕田寺境内にある「三山碑」で、その由来や歴史的背景についての説明がありました。続いて、山崎追分へ移動し、供養碑を見学。その後は旧東福寺跡、さらに岩切簡易郵便局付近にかつて存在した「百文圀（ひゃくもんがこい）」の跡地を訪ね、地域に残る名残と人々の営みに触れました。

街歩きの終盤には山崎町内会集会所に場所を移し、三浦氏によるミニ歴史講座が行われ、参加者は地元の歴史についてさらに理解を深めました。すべての行程を終え、正午に解散となりましたが、「知らなかったことを知ることができてよかった」「今度は別の地域も歩いてみたい」といった声が聞かれ、有意義なひとときとなりました。

地域の身近な歴史に目を向け、現地を実際に歩いて感じることで、これまで見過ごしていた風景の中にも深い物語が息づいていることを実感できました。参加者同士の交流も自然と生まれ、和やかな空気の中で新たな発見や学びが得られました。IOCでは今後もこのような活動を通じて、地域の魅力を再発見し、世代を超えた交流の輪を広げていきたいと考えています。次回のイベントにもどうぞご期待ください。

IOC（岩切おもしろ倶楽部） 嘉藤和男

